

JAPANESE (JA)

# グローバル補助金 小口融資プロジェクト報告書の補足書式

### ロータリー提唱者

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 補助金番号 |  | | プロジェクトの実施国 | | |  |
| 実施国側地区 | |  | | 実施国側クラブ |  | |
| 援助国側地区 | |  | | 援助国側クラブ |  | |

### 小口金融機関

小口融資プロジェクトの管理運営を行った小口金融機関について記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 |  | |
| ウェブサイト | |  |

### プロジェクトのモデルについて

このプロジェクトで用いた小口融資モデル（信用グループ、相互保証、個人での借入など）について説明してください。

どのような研修を提供しましたか。研修のトピック、参加者数、研修方法・演習、期間・頻度、研修者について説明してください。

### 使用した小口融資モデル

|  |  |
| --- | --- |
| 適用した利率 | ％ |
| 受益者一人当たりの平均融資額 |  |
| 融資条件／期間 |  |
| 支払い頻度（毎週、毎月など） |  |

### 小口融資のキャッシュフロー（実際）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 数 | 額 |
| 融資元金として予定していたロータリー財団補助金資金 | |  |
| 融資\* |  |  |
| 回収された融資\*\* |  |  |
| 回収された利子（および該当する場合は手数料） | |  |
| 利子および手数料から支払われた管理運営費 | |  |
| 当該プロジェクトの終了時点で利用可能な融資元金（正味） | |  |

### \*グローバル補助金最終報告書とともに本書式が提出される場合、この額は融資元金予算額の少なくとも2倍であるべきです（1回目サイクルが完了し、2回目サイクルで配分する融資）。

\*\*グローバル補助金最終報告書とともに本書式が提出される場合、回収された融資は少なくとも融資元金と同額以上であるべきです（1回目サイクルの融資がすべて回収された状態）。

融資にあたっては、信用グループモデルを採用しましたか。　はい 　いいえ

「はい」と答えた場合、各グループに関する情報を以下に入力してください。

「いいえ」と答えた場合も、資金管理と記録を徹底して行っていることを実証するために、以下に融資を受けた人のリストを提供することができます。ただしこれは必須要件ではありません。

### 信用グループ（必要に応じて列を追加してください）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| グループの名称 | 場所 | 融資を受けた人 の数 | 融資額 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  | 合計 |  |

### 小口融資の継続性

融資元金の管理にあたって小口金融機関は、今回の資金を今後も融資元金として使用することに同意しましたか。

はい いいえ

ロータリー提唱者は、融資元金を今後もこの小口金融機関に残すことに同意しましたか。

はい いいえ

本報告書の提出者（ロータリアン）：

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 役職名 |  |  | 日付 |
|  |  |  |  |  |  |